



第8回日本けん玉協会チーム戦

1月28日(土) 13:00～15:30(受付 12:00～)



<参加資格>

協会の活動会員、非会員の別は問わない。実力により選手はSA～Eクラスに別れる。

3人一組のチーム競技。なお、全日本SAクラス選手(過去3年間のJKA杯、全日本の予選通過者)は段位にかかわらずSAクラスとする。

70歳以上の方は1クラス、80歳以上は2クラスまでクラスを下げて出場してもよい。

各自の技量・実力によって自分が持っている級・段位以上のクラスで挑戦してもよい。

●チーム参加の条件・・・チーム3人の合計ポイントが9ポイント以上であること。なお、各クラスの参加ポイントは以下の通りである。

クラス	参加ポイント
SAクラス(全日本選手)	6ポイント
Aクラス(五段以上)	5ポイント
Bクラス(四段・参段)	4ポイント

クラス	参加ポイント
Cクラス(二段・初段)	3ポイント
Dクラス(準初段～3級)	2ポイント
Eクラス(4級～10級)	1ポイント

<参加申込>

メール、FAX、はがきにて、チーム名、メンバーの氏名・段位(クラス)・出身地区名・年齢(学年)を明記の上、1月20日(金)までに協会事務局までお申し込みください。

※当日、一人でも参加できます。その場合、当日会場でチームを組んでいただきます。

<参加費> 1チーム 1,500円(会員、非会員問わず)※当日お支払いください。

<使用けん玉> 日本けん玉協会認定競技用けん玉(新富士・TK16master・夢元・新さくら・大空などの認定シールが貼られているもの。

けん玉検査は行いません。★認定シールが貼られているけん玉は、「大空プレミアム」等、すべて使用を認めます。

<大会選技>

SAクラス	
①	宇宙一周～地球まわし
②	ろうそく持ちうらふりけん
③	うぐいす～回転落としけん
④	一回転灯台～さか落とし
⑤	さか落とし～はねけん
⑥	つるし一回転灯台～ろうそく
⑦	一回転飛行機～灯立
⑧	けん先おもてうらすべり
⑨	地球まわし～うら地球まわし
⑩	灯台とんぼ返り～すくいけん

Aクラス(五段以上)	
①	宇宙一周
②	うらふりけん
③	うぐいす～けん
④	一回転灯台～さか落とし
⑤	さか落とし～はねけん
⑥	つるし一回転灯台
⑦	一回転飛行機～灯立
⑧	けん先おもてうらすべり
⑨	地球まわし～うら地球まわし
⑩	灯台とんぼ返り

Bクラス(三段・四段)	
①	けん先すべり
②	ヨーロッパー一周
③	さか落とし
④	うらふりけん
⑤	うぐいす
⑥	地球まわし
⑦	つるしとめけん
⑧	はねけん
⑨	中皿～ろうそく
⑩	一回転飛行機

Cクラス(初段・二段)	
①	とめけん～果一周
②	飛行機
③	ふりけん
④	灯台
⑤	世界一周
⑥	けん先すべり
⑦	うぐいす
⑧	つるしとめけん
⑨	うらふりけん
⑩	地球まわし

Dクラス(3級～準初段)	
①	前ふりろうそく
②	とめけん
③	飛行機
④	ふりけん
⑤	日本一周
⑥	世界一周
⑦	手のせけん～中皿
⑧	手のせけん先すべり
⑨	手のせうぐいす～けん
⑩	空中ブランコ

Eクラス(10級～4級)	
①	小皿
②	中皿
③	ろうそく
④	とめけん
⑤	前ふり大皿
⑥	前ふり中皿
⑦	前ふりろうそく
⑧	大皿～中皿～大皿
⑨	手のせけん～大皿
⑩	手のせ大皿～けん

<予選競技方法>

① 予選競技は、定められた10種の中から審判長のくじ引きで決定された種目を順に三人で同時に行う。技は2回行うことができるが、2回目は1回目を失敗の選手のみ行う。

② 予選得点用紙に○×をつけ、合計得点を出す。(1回目と2回目の成功ではポイントPが異なる。)

③ 各種目のポイントは、1回目10P(5・3・2)、2回目7P(4・2・1)全て1回目の成功の場合 合計100Pとなる。

④ 予選通過は予選の獲得ポイント上位10チーム、敗者復活戦で勝ち残った2チームが決勝トーナメント進出とする。

予選競技では同点の場合、3人の選手でじゃんけんを行い、勝った選手が多いチームを上位にする。

<敗者復活戦競技方法>

審判長がくじ引きで選んだ種目を3人同時に行う。全員失敗のチームから敗退していき、1人成功のチーム、2人成功のチーム、3人成功のチームと順に成功した人数の多いチームを残していく勝ち抜き戦を行い、最終的に残った2チームが決勝進出となる。途中の段階で、2チームが決まってしまった場合、その時点で終了とする。

<決勝トーナメント競技方法>

① 決勝戦は、予選競技の順位に従ってあらかじめ決められたトーナメント表に予選通過のチームを配置する。

② チームは選技を行う順番、一番手、二番手、三番手(先鋒、中堅、大将)を決める。

③ 一番手からお互いに一回ずつ選技を行い、引いた種目をお互いに一回ずつ行う。一度引いた種目は二番手で降の試合には使用できない。0対0/1対1は「引き分け」とする。次に二番手も同じように行い、二番手で勝敗がついても、三番手までお互いに対戦を行う。

④ 3選手の試技終了後引き分けの場合、主審がくじ引きで種目を選び、チーム3選手同時に引いた種目を行い、成功した選手の数によって勝敗を決める。決定するまで何度もこの方法で試技を行う。

⑤ 三位決定戦を行います。

※チーム全員が同一都道府県のチームを対象に、都道府県対抗順位を出します。